

番号・課題名	7 これまでに出荷されたトウキョウXの枝肉成績 ～6847頭のデータから～
所属・氏名	環境畜産部 伊藤米人 協力：高品質豚生産組合

〔目的〕

1997年10月に、畜産試験場から出荷された子豚が農家で肥育され、初めてと畜場に出荷された。同時に、精肉の販売も都内の小売店で行われた。1998年10月から農家で生産された子豚が農家で肥育され出荷が開始された。さらに、1999年から都外農家で生産された豚も出荷を開始した。当初、トウキョウXの販売方式は、市場方式によらない契約販売方式により、マニュアルにそって生産された枝肉は、全て同一条件で取引されることとした。しかし、販売店が著名なデパートが主体となり、外観の点も重要視されるようになった。枝肉の購入業者からも品質を厳しくチェックされている。そこで、これまでに出荷されたトウキョウXの枝肉成績をとりまとめ、今後の品質改善に資する。

〔方法〕

1. 1997年10月から2002年4月までにと畜された6847頭についてとりまとめた。
2. 枝肉成績の評価は、高品質豚生産組合と枝肉購入業者が取り交わしたトウキョウX枝肉取引基準に基づき、ランク1から4までとした。
3. 都内の場合は、八王子と場でと畜後、翌日に枝肉購入業者の冷蔵室内で行った。都外の場合は、それぞれの県内のと畜場だと畜後、枝肉購入業者の冷蔵室に運搬し、都内の場合と同様に行った。

〔結果〕

1. 枝肉の取引評価

全体のランク1、2、3および4は、それぞれ30.6、54.4、12.5および2.5%であった。ランク2およびランク3に評価された要因としてのコメントは、肉質、肉色、枝肉の形態と質、枝肉の脂肪の厚さと質であった。農家別のランクでは、ランク1と2の合計で最も高い農家は92.2%、最も低い農家は77.5%であった。

2. 枝肉重量

枝肉重量の全体の平均は73.7±5.2 kgであった。農家別では、69.8±5.7 kgから76.6±7.8 kgの範囲であった。ランク別では、ランク1、2および3では全体の平均とほぼ同様であったが、ランク4は69.8±7.8 kgと小さかった。

3. 背脂肪の厚さ

背脂肪の全体の厚さの平均は2.3±0.6 cmであった。農家別では2.1±0.5 cmから2.6±0.8 cmの範囲であった。ランク別ではランク1は2.2±0.3 cmで、ランク2および3の順に厚かった。しかし、ランク4では逆に薄かった。

4. と畜日齢

全体のと畜日齢の平均は213.0±28.3日であった。農家別では、195.3±22.5日から248.0±29.7日の範囲であった。ランク別ではランク1は209.6±24.8日でランク2も同様であったが、ランク3、4はこれらより長かった。

〔考察〕

以上、トウキョウXの枝肉の平均は、枝肉重量は73.7±5.2 kg、背脂肪の厚さは2.3 cm、と畜日齢は213日であった。ランク1の平均もほぼ同様であり、これらの値が高く評価される枝肉であると考えられる。

文字指定：本文＝MS明朝

番号・課題名・所属・氏名・〔目的〕・〔結果〕＝MSゴシック
アルファベット・アラビア数字は日本語と同じフォントとし、半角文字を用いる
例：25.04mm TOKYO X

見開き2ページで1課題とする。

左側ページに課題名等・目的・結果

右側ページに図表

左側ページはMS-WORDで作成(.doc)

右側ページはMS-WORDもしくはMS-EXCEL(.xls)で作成

余白設定

左右：25mm

上：20mm

下：25mm

行数：40

文字数：40

(ただし、図表については見やすい形式にしてあれば行数・文字数は規定しない)

ファイルのありかは(ネットワーク)...

応用共用→マイドキュメント→出版広報委員会→様式→「研究発表要旨(様式).doc」